

## 自然運動を基盤とした Madge Atkinson のダンス教育-1920年代の実践に焦点をあてて-

廣兼 志保(島根大学)

### 1. 研究の背景と目的

1920年代には、自然な運動によって感情や思想や物語を表現するナチュラルダンスが欧米から日本の学校体育へ新たに導入され、欧米の指導者達の先行実践やダンス教材などが日本に紹介された。イギリスのマンチェスターにおける「自然運動の学校(School of Natural Movement)」の創立者マッジ・アトキンソンは、そのうちの一人である。

ナチュラルダンスの導入は、伝統的なダンス技法ではない自然な運動による表現的なダンス教育の始まりを象徴している。自然な運動とは、どのような動作から構成されていたのであろうか。

本研究の目的は、マッジ・アトキンソンの1920年代のダンス指導実践を対象に、彼女が開発したナチュラルダンスがどのような動作で構成され、指導されたかを明らかにすることである。

### 2. 研究の方法

本研究は、20世紀初頭のイギリスの学校体育におけるダンスの位置づけを知ることで時代背景を理解した後、自らのダンスの指導方法を解説したアトキンソンの著作や、彼女のダンス指導実践を直接観察し記録し考察した女子高等学校長のメアリー・ジョンストンの著書を一次史料として用い、アトキンソンが1920年代に指導したダンストレーニングやエクササイズの詳細を明らかにする。

### 3. 結果と考察

イギリスの教育委員会が1909年に発表した身体訓練要目は、スウェーデン体操が採用された不活発でありあきあきする単調な前要目の内容を改善するため、ステップマーチ、ダンス、スキップ、ジムナスティックゲームなどのレクリエーション的な運動を採用した(マッキントッシュ,1973,p.127)。このことによって、ダンスはイングランドとウェールズの州立学校の体育カリキュラムの中に公式に認められ、活動の内容としては、フォークダンスが推奨されていた(Brinson,1980,p.193)。

このような状況を背景に、アトキンソンは、1910年よりイサドラ・ダンカンのダンス、アネア・スポングの自然運動、エミール・ジャック=ダルクローズのリトミックに興味をもつようになり、これらを融合させて1912年に自然な運動を基盤として体系化されたダンスの開発を始め、1918年には「自然運動の学校」を開設した(Carter,2010,pp.92-93)。アトキンソンは、古代ギリシャのダンスが自然な運動と日常生活の動作に基づいていたことと身体運動で音楽を表現していたことを理想とし、その理想を体現しようとした(Atkinson,1926,

p.290, Johnstone,1924,p.57)。彼女が開発したダンスは同時代の教育者であるジョンストンによって精神面・身体面での効果や指導方法の特徴から教育的価値が評価された(Johnstone,1924,pp.57-74)。アトキンソンのダンスは1925年から1939年にマンチェスターの学校を通じて広まり、学校体育に自然な運動に基づくナチュラルダンスが導入された((Brinson,1980,p.195, Carter,2010,p.93)。

アトキンソンによる自らのダンスの指導の体系の解説やジョンストンによる記録や考察から、以下に示すアトキンソンのダンストレーニングやエクササイズの詳細を明らかにすることができた。

#### (1)裸足でのダンス

靴を履かずに動くことで足は生来の自然な形や機能に戻るとされ、足の動きが重視された。甲や足指に荷重したり揺らしたりするエクササイズが作られ、指導された(Atkinson,1926,pp.291-293)。

#### (2)体幹と四肢との位置関係で作られる基本姿勢

頭頂から地面まで引かれた仮想の垂線と手足との位置関係によって分類された、直立姿勢、前傾姿勢、後傾姿勢の3種類が基本姿勢として示され、指導された(Atkinson,1926,p.291)。

#### (3)腕が空間に描く線による動作の基本デザイン

腕を空間のどの位置に置くか、腕を伸ばすか曲げるか、によって基本的なダンスの動作が形成され、指導された(Atkinson,1926,p.296)。

#### (4)日常生活の動作から作られたエクササイズ

歩く、走る、跳ぶ、向きを変える、回転するといった日常生活の動作からエクササイズが作られ(Atkinson,1926,pp.291-296)、方向、速さ、高さ、姿勢、膝の曲げ伸ばし、などの条件を変化させた様々なエクササイズの動作が示され、指導された。

#### (5)音楽の構成と身体運動との調和

音の高低や強さやフレーズの構成を身体運動で表現するなど、音楽の構成を解釈し音楽と調和して動くことが目指された(Atkinson,1926,pp.296-298, Johnstone,1924,p.57,pp.62-64,pp.69-70)。

#### 【参考文献(抜粋)】

Atkinson, M. (1926) *The Dance, Based on Natural Movement: an Introduction to My System of Teaching*. *Dancing Times*, 195: 290-299.

Brinson, P. (1980) *Dance Education and Training in Britain*. Calouste Gulbenkian Foundation, pp.193-195.

Carter, A. (2010) *Archives of the Dance (22): Pioneer Women-Early British Modern Dancers* (The National Resource Centre for Dance, University of Surrey), *Dance research*, 28 (1): 90-103.

Johnstone, A. (1924) *The Physical Training of Girls*. Sidgwick & Jackson, pp.57-74.

【付記】本研究は、令和2～6年度年度 JSPS 科研費(20K11487)の助成を受けて行われた。